



カーペットのお掃除法

多くの部屋にあると思われるカーペット。その上で寝そべったりすることも結構あるでしょう。でも、そのカーペット、どれくらい掃除してますか？ 今回はカーペットをきちんと掃除する方法を紹介します。
(おーたち)

日ごろのお掃除

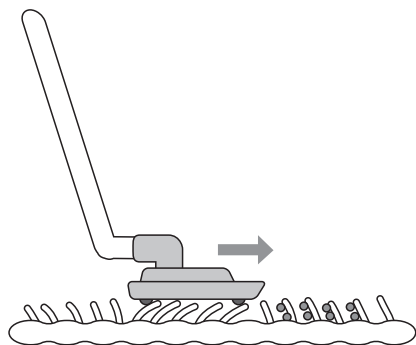
■掃除機

カーペットの掃除の基本は、掃除機をかけることです。理想は毎日ですが、最低でも**1週間に2回**は掃除機をかけましょう。

掃除機はカーペットの毛並みと逆方向に、毛を起すようにかけ、毛の根元の空気の通りがよくなるようにしましょう。掃除機をカーペットに押さえつけるようにかけるのはだめです。空気の通りが悪くなり、ゴミが吸い取りにくくなります。

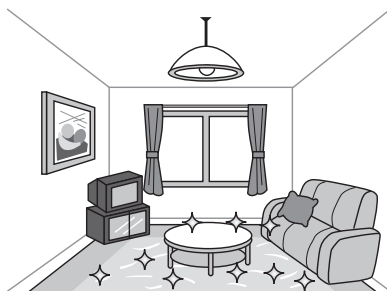
また、ダニ対策のためには念入りに掃除機をかけることが有効です。**1㎡あたり20秒～1分ぐらい**が目安です。食事をするところは特にダニが発生しやすいので、しっかりと。

▼正しい掃除機のかけ方



■粘着ローラー

掃除機で取りにくいゴミは粘着ローラーを使うと簡単に取れます。粘着ローラーがない場合はガムテープでぺたぺたやることで代わりとなります。また、ローラーをかける前にブラシで毛並みに逆らって掻き出すようにブラッシングしておくともゴミが浮き出てきて、取りやすくなります。



月に1回ぐらいは

□拭き掃除

カーペットに拭き掃除はいらないと思っている人もいますが、汚れてきたカーペットには拭き掃除が有効です。

水かお湯でぬらしたぞうきんで拭きましょう。それでも汚れが落ちにくい場合はカーペット用洗剤を使います。最初はカーペットの毛並みに沿うように、そして次は逆らうように拭き、カーペット全体が拭けるようにします。一通り拭いたら洗剤を拭き取り、乾拭きをしましょう。取り外しが可能なカーペットなら風に当てて乾かします。

カーペットを掃除して部屋をさわやかに！

コラム 重曹で消臭

重曹とはふくらし粉のことです。スーパーの製菓用品のコーナーにおいてあるものなのですが、これがカーペットの消臭に役立つのです。

カーペットの上に重曹を振りかけて**2時間～半日ぐらい**放置し、その後掃除機で吸い取ります。重曹を振りかける前にカーペットの毛並みを立たせておくと、重曹がカーペットの根元まで入り、効果が大きくなります。また、掃除機で吸い取るので、掃除機の内部の消臭にもなり一石二鳥です。



▲重曹（一例）

はみだし
すてーじ

京都には海があった。(内陸だとばかり。) ⇒月には海があった。(岩の塊だとばかり。)

(法・1 ダマシ)
(海月と書いて「くらげ」と読む；編)